平成31年度 沖縄海区漁業調整委員会開催状況

	開催日時·場所	議題	内容
第	平成31年4月12日 14時~14時40分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 平成31年度浮魚礁承認予定数につ いて	浮魚礁承認予定数は、前年度に各敷設団体から聞き取った上で事務局で案を作成し、年度当初の委員会において決定されており、事務局が要望の聞き取りをおこなった結果、今年度の合計承認予定数は150基となった。 平成31年度敷設承認予定数150基及び敷設予定団体への敷設の配分について、委員からは異議なく事務局案のとおり承認された。
1 0		(議案2) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規承認申請が1基(漁協)、事後承認申請が2基(1漁協)、再承認申請が5基(1漁協)あり。原案のとおり全て承認。
		(報告事項1) 第5管理期間のクロマグロの資源管 理に関する報告	平成31年4月1日から始まった知事管理漁業による第5管理期間の計画について事務局から報告を行った。
第2回	令和元年5月17日 14時~15時 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規承認申請が3基(1町)、再承認申請が36基(6漁協、6市町村)あり。原案のとおり全て承認。
		(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で石垣島ウミガメ研究会及び東海大学沖縄地域研究センターから申請があり。原案のとおり承認。 漁業者から、前年度承認を受けた採捕頭数の追加申請があり。原案のとおり承認。
		(報告事項1) クロマグロの漁獲状況に関する報告	第5管理期間のクロマグロ(大型魚)の漁獲状況について事務局から 報告を行った。
	令和元年6月14日 14時~15時 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規承認申請が2基(2漁協)、再承認申請が52基(8漁協、8市町村) あり。原案のとおり全て承認。
第3回		(議案2) 令和元年度全国海区漁業調整委員 会連合会九州ブロック会議の要望 等について	令和2年度に全漁調連が行う中央省庁要望のうち、九州各海区からの要望は、今年10月に開催される九州ブロック会議で素案の審議を行うこととなっている。 沖縄海区からは、①日台漁業取決めの見直しについて、②日中漁業協定の見直しについて、③太平洋クロマグロ(大型魚)の適正な資源管理について、を継続して要望することを事務局から提案し、案のとおり要望することで承認された。
第4回	令和元年7月12日 14時~15時10分 沖縄県庁6階 第2特別会議室		浮魚礁の新規承認申請が5基(県、2漁協)、事後承認申請が1基 (漁協)、再承認申請が34基(県、7漁協、2町村)あり。修繕等を行わなければ再承認の要件を満たすことができない浮魚礁については、条件付き承認とし、事務局が修繕後の写真を審査し、改善が確認されたのちに承認証を交付することとなった。承認要件が整っている申請については、原案のとおり承認された。
		(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で小林氏から申請があり。原案のとおり承認。 漁業目的で15名の漁業者から申請があり。原案のとおり承認。
	令和元年8月9日 14時~15時15分 沖縄県庁2階 労働委員会会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の再承認申請が4基(県、1漁協)あり。全て原案のとおり承 認。
第 5 回		(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で日本ウミガメ協議会付属黒島研究所、養殖目的で日本へっ甲協会から申請があり。原案のとおり承認。
回		(協議事項1) ソデイカの採捕に係る委員会指示に ついて	当該指示は令和元年9月30日で有効期間が満了するため、新たな指示発動に向けて、漁協等へ行ったアンケートの結果について事務局から説明を行った。禁漁期間を延長する方向で検討し、次回の委員会でその内容を今期の指示に反映させるか審議することとなった。

第6回	14時~15時15分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規承認申請が7基(県、3漁協)、再承認申請が4基(県、1 漁協)あり。全て原案のとおり承認。
		(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で沖縄美ら島財団から申請があり。原案のとおり承認。
		(議案3) ソデイカの採捕に係る委員会指示 の発動について	前回の委員会で、アンケート結果から禁漁期間の延長について協議したした結果に基づき、今回の改正は、指示の更新に伴う日付や文書法規上の文言を修正する以外に、禁漁期間を延長するとした改正案が事務局から提示され、審議を行った。委員からは異議なく案のとおり承認された。
		(議案5) 平成30年度全漁調連九州ブロック 会議に係る要望議題等の回答について	当該会議に係る九州各県からの要望について、沖縄海区漁業調整委員会からの意見のとりまとめを行った。審議の結果、新規5件の要望を含め、全19件の要望について、趣旨に賛同する旨の回答をすることが承認された。 また、大分海区からの照会については、事務局案のとおり承認された。
第7回	令和元年10月11日 14時~15時 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の再承認申請が1基(漁協)あり。原案のとおり承認。
第8回	令和元年11月8日 14時~15時30分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規認申請が3基(県、1漁協)あり。全て原案のとおり承認。
		(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で東京海洋大学から申請があり。原案のとおり承認。
第 9	令和元年12月13日 14時~15時 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の新規認申請が3基(1町、1漁協)あり。全て原案のとおり承 認。
Ö		(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	漁業目的で1名の漁業者から申請があり。原案のとおり承認。
第10回	令和2年1月10日 14時〜14時35分 ホテルサンパレス 球陽館2階会議室	(議案1) 沖縄海区における浮魚礁の敷設承 認基数について	浮魚礁の敷設承認基数について、現行の委員会指示では漁協及び市町村分は200基を上限として規定されているが、150基を上限とするよう沖縄県浮魚礁漁業等調整連絡用議会会長から要望があり、その内容について審議を行った。委員からは特に異議なく、要望内容のとおり承認された。
第	16時~17時 沖縄県庁2階 労働委員会会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	浮魚礁の再承認申請が2基(県)あり。全て原案のとおり承認。
第 1 1 回		(報告事項1)	奄美大島海区漁業調整委員会と1月24日に奄美市においてソデイカ 漁業についての意見交換が行われ、その内容について事務局から報告 された。奄美大島海区及び沖縄海区におけるソデイカ漁業の現状、資 源管理の重要性及び今後の連携について確認されたことが報告され た。
	令和2年3月6日 14時~15時10分 沖縄県庁6階 第2特別会議室	(議案1) 浮魚礁の敷設承認申請について	新規承認申請が1基(漁協)、事後承認申請が1基(漁協)、再承認申請が3基(県)あり。原案のとおり全て承認。
		(議案2) ウミガメの採捕承認申請について	試験研究目的で琉球大学ウミガメ研究会から申請があり、原案のとおり承認。
		(議案3) 浮魚礁に係る委員会指示の発動に ついて	当該委員会指示は、令和2年3月31日に有効期間が満了するため、 新たな委員会指示を発動する必要があることから、その発動と内容について審議を行った。今回の変更は、承認の手続等を整理し指示に反映した点、承認基数を変更した点となり、運用については現行指示と変更はなく、法規的な表現について修正した改正案が事務局から提示され、 異議なく原案のとおり承認された。

第 1 2 回	(議案4) イセエビ類及びセミエビ類の採捕制限に係る委員会指示の発動について	当該委員会指示は、令和2年3月31日に有効期間が満了するため、 新たな委員会指示を発動する必要があることから、その発動と内容について審議を行った。今回は内容変更をせず、指示更新に伴う日付や文 書法規上の文言を修正した改正案が事務局から提示され、審議を行った。委員からは異議なく案のとおり承認された。
	に関する計画(第5管理期間)の変	大型魚の配分量について、沖縄県の配分量が追加される見込みであることから、国の基本計画が一部改正されたため、海洋生物資源の保存及び管理に関する法律第4条に基づき、県計画の変更について沖縄県知事から諮問され、答申について審議を行った。県計画の変更に異議なしとした事務局からの答申案について、委員からは異議なく案のとおり承認された。
	(議案6) 沖縄県の海洋資源の保存及び管理 に関する計画(第6管理期間)の変 更に係る知事からの諮問について	第6管理期間について、国の基本計画が一部改正され、海洋生物資源の保存及び管理に関する法律第4条に基づき、県計画の変更について沖縄県知事から諮問され、答申について審議を行った。配分量は今期と同じだが、管理期間開始後に追加の配分が見込まれていることから、それに対応した県計画の変更に対して、異議なしとした事務局からの答申案について、委員からは異議なく案のとおり承認された。